

RCCM資格受験講習会開催報告

研修委員会

研修委員会では、RCCM資格受験のための事前講習会を平成11年10月8日、仙台ろうふく会館で開催した。

今回の講習申込者は、13名と少なく実際の参加者は11名であった。講師は講習経験の多い方々をお願いした。

本年度のRCCM講習会プログラム

挨拶	10:00~10:05	研修委員会委員長	大竹 勉
午前の部			
1. 問題1の業務経験論文の書き方	10:05~10:40	(株)復建技術コンサルタント 調査防災部部長	伊藤 賢一
2. 問題2の業務関連法制度等の一般知識 解答例の説明	10:40~11:00	(株)復建技術コンサルタント 都市環境部部長	佐藤 泰法
休憩	11:00~11:15		
3. 問題3の管理技術力について	11:15~11:45	(株)復建技術コンサルタント 都市環境部部長	佐藤 泰法
質疑応答	11:45~12:00		
.....昼食休憩.....			
午後の部			
4. 経験論文の添削(個別指導)	13:00~16:00		

講師の方々には、採点の経験もあり、問題1の経験論文について実際に即した内容の講義で、参加した人々にはかなり参考になったものと思われる。業務評価の論文の書き方で例年指摘される点はおなじで次の項目である。

- ・技術上の問題点とその解決策
- ・業務実施上の問題点とその解決策(工程、工期上の問題等)

以上について混同する論文が多いので特に注意する点であるとのことであった。

受験者で論文に力を入れ過ぎて問題2で失敗しないように、一昨年と昨年の問題の解答例、解説も組み込んだ。この問題は数が多く、新しい形式の問題の出題は少ないので今回のテキストに掲載している問題を解いておけば、かなりの得点を稼げるとの解説であった。大体昨年の問題の80%は同じ問題とのことであった。

問題3の管理能力を問う形式は、RCCMのテキストに今まで出題された問題があり、毎年同じような設問があるサイクルで必ず出題されている。少なくとも2~3種類の解答例を用意しておけば十分とのことであった。これらに必要なキーワード等、実際に即した内容であったので、受講者にとってはかなり参考になったものと思います。講習資料として解答例を配布した。

午後からは、講師の方々と研修委員会全員で、予め送付してもらった経験論文に対する添削を個人毎に行った。

論文の添削を受けた参加者には昨年受験して合格した人の経験論文を参考資料として配布したのでかなり参考になると思います。

昨年は11名の受験者があり、その内、合格者は5名で合格率は45.5%であった。

今回も受験者の受験番号を協会から問い合わせますので受験者の方々の御協力をお願いいたします。

参加したみなさんの本番での健闘を願っております。